

【沿革】

- 1962年4月 有馬ヘルスセンター開業 ※参考写真1
- 1973年7月 有馬ビューホテル開業
- 1993年4月 有馬ヘルスセンター浴場棟竣工
- 2005年1月 有馬ヘルスセンター閉館
- 2005年4月 有馬温泉 太閤の湯グランドオープン
※参考写真2
- 2005年10月 金泉移動式足湯「デリバリースパ」新設
- 2006年4月 太閤の湯内 岩盤ミュージアム「たいこうゆめじゅらく太閤夢蒸楽」オープン
天然温泉ミストと11種類の鉱物や岩石を用いたプレミアム岩盤浴
- 2007年3月 厚生労働省より温泉利用プログラム型健康増進施設認定
- 2007年4月 ホテル阪急エキスポパーク内「夢蒸楽インエキスポパーク」プロデュース
- 2007年7月 太閤の湯内 貸切個室岩盤浴「ひょうたん夢蒸楽」オープン
関西温浴施設初、カップル及び小グループ向け個室岩盤浴設置
アロメインハレーションを日本初設置 クールルームソルトピット設置
- 2008年4月 太閤の湯内「開運祥福太閤貴宝風呂」オープン
岩盤素材に稀少なパワーストーンを使用したプレミアム岩盤浴
- 2008年5月 全方位型温泉サウナ「極みの溶岩サウナ」オープン ※参考写真2
- 2008年6月 太閤の湯ご来館 100万人達成
- 2008年7月 阪神阪急六甲有馬連携推進協議会の設立
- 2009年6月 六甲有馬元気アップキャンペーン
※六甲有馬施設連携販売の推進
- 2010年4月 太閤の湯オープン5周年
ねねハーブの小径オープン ※参考写真3
- 2010年7月 有馬ビューホテルうららリニューアルオープン
- 2012年1月 太閤の湯ご来館 200万人達成
- 2012年4月 有馬ビューホテルうらら いろは館オープン
- 2014年2月 太閤の湯 7,000㎡全面大改装
「黄金の蒸し風呂」、歴史探訪ヘルスレーン
「官兵衛古道」オープン ※参考写真4
- 2014年10月 太閤の湯ご来館 300万人達成
- 2015年4月 太閤の湯オープン10周年
特定非営利活動法人「森林セラピーソサエティ」協力施設認定
鳥取県智頭町と森林セラピー推進に関する
包括連携協定締結
- 2017年4月 太閤の湯ご来館 400万人達成
- 2018年5月 大規模躯体改修工事着工・全館休館
- 2019年4月1日(予定) 「有馬きらり」(旧：有馬ビューホテルうらら)
グランドリニューアルオープン
「有馬温泉 太閤の湯」全面リフレッシュオープン



*ご参考

<森林セラピーウォークについて>

森林セラピーは、医学的な証拠に裏付けされた森林浴効果のことです。森を楽しみながら心と身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指します。

具体的には、森林の中で呼吸法やヨガ、アロマセラピー等を組み込んだ心のリラクゼーション・プログラムや、森林ウォーキングやノルディックウォーキングの運動を通じた身体のフィットネス・プログラムを行います。併せて温泉やヘルシーな郷土料理を楽しめたり、医師と連携して健康相談を行う場合もあります。

太閤の湯では敷地内にヘルスレーンを整備しており、温泉セラピーに加え、手軽に森林浴ウォーキング、ヨガが楽しめます。また、施設内では森林セラピーのパンフレットを配置している紹介コーナーもあります。鳥取県智頭町森林セラピー推進協議会と提携して、有馬温泉周辺を歩きながら森林セラピーを体験できる「森林セラピーウォーキング」を開催予定です。

<奇跡の温泉有馬温泉の特質>

火山のない有馬地域で100度近くの温度で湧出する金泉は謎の温泉と言われてきました。その謎は近年の研究で次々と明らかになって来ています。金泉にはヘリウム3という成分が共通に含まれていることから、地下60kmのマントル上部から湧出していることは以前から分かっていました。ただ、水源が不明であったのが、京都大学等の研究でようやく解明されて来ました。フィリピン海プレートがユーラシアプレートに滑り込む600万年前の蛇紋石の地層が600度の熱で臨界化して、地下60kmから有馬地域半径500mだけに湧き出ているのです。

じゃもんせき
蛇紋石に閉じ込められた600万年前の古海水が60kmの地下から現代に甦っているのです。地下深くから湧出することにより、様々な成分が溶け込み、療養泉の成分の9つの内7つが規定量以上含まれ、抗鬱剤の主成分であるリチウムは世界の温泉中でも突出しています。古海水は現在の海水濃度の約2倍です。有馬温泉の金泉の塩分濃度も海水の約2倍あり、研究結果を裏付けています。主要温泉地中、日本一塩分濃度の高い有馬温泉。そして、療養泉としても9つの成分の内7つまで有する有馬温泉はまさに世界でも唯一無二とも言える大地の恵みです。

以上